

芝小の令和3年度が今日で終わります。みなさんは、この一年大きく成長してきました。みんなに共通する成果としてはタブレットの扱いです。どの教室でもタブレットを使った学習が活発に行われた結果、学びの形が大きく変わり、友達の考えや調べたい情報も、すぐに見られるようになりました。9月と1月にはオンライン授業も行われ、感染防止のために体は離れていても、画面を通して友達と会うことができました。全員の努力の成果です。

新型コロナウイルスの感染防止にみなさんでしっかりと取り組み、学校の中で感染が広がることはなかったことも成果の一つです。そこには、みなさんのご家族の協力もあり、心から感謝しています。

その他にも、みなさんはいろいろなことに取り組みがんばってきました。どの教室でも、この一年で何を学んだか、何ができるようになったのかを、クラスの友達や一人一人で、振り返ったことと思います。みなさんの成長は、3月の初めに行われた6年生を送る会での発表にもたくさん表れていました。

ここで、宮澤章二さんという方が書かれた『行為の意味』という詩を紹介します。この詩の一部は、3. 1 1 東日本大震災の後にテレビのCMで流されました。行為というのは、人のする行い、行動のこと。ですから、行為の意味とは、「人が行動することの意味」ということになります。

あなたの心はどんな形ですかと 人に聞かれても答えようがない 自分にも他人にも心は見えない けれどほんとうに見えないのであろうか 確かに心はだれにも見えないけれど 心づかいは見えるのだ それは 人に対する積極的な行為だから 同じように胸の中の思いは見えないけれど 思いやりは見えるのだ それは 人に対する積極的な行為なのだから あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき 「心」も「思い」も、初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ

6年生を送る会の発表には、みなさんの6年生への感謝の思い、ありがとう、が積極的な行動となって、いっぱい現れていました。そこには、考える力、工夫する力、表現する力、伝える力、みんなで協力する力、作り上げる力など、たくさんの成長が目に見えました。来年度はその力を基にして、次の学年で、さらに成長してください。先生方はそのお手伝いができるように、来年度もがんばります。

さて、今、話を聞いている多くのみなさんは、4月になればこの芝小でまた新たな学年になって集まります。でも、これまでみなさんをリードしてくれた6年生に会えるのは、今日が最後です。明日、6年生はこの芝久保小学校にお別れをします。最後に、6年生にこれまでの感謝とお祝いの思いを、積極的な行為にして、贈ってあげましょう。両方の手のひらに思いをこめて、拍手を贈ります。

6年生は耳を澄ませてください。それでは、どうぞ。

みんなの心と思いが、6年生には見えたかな。みなさん、今年度は、よくがんばりました。来年度は、それぞれの新しい舞台で、新しい目標を立てて頑張ってください。